

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月6日

【評価実施概要】

事業所番号	0173100298		
法人名	有限会社 アスト		
事業所名	グループホーム ほのぼのファミリー		
所在地	北海道上川郡東川町北町5丁目4番10号 (電話) 0166-82-5356		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年10月5日	評価確定日	平成19年10月24日

【情報提供票より】(平成19年9月21日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年2月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤	6人, 非常勤 3人, 常勤換算 6.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	38,000円	その他の経費(月額)	15,000円	
敷金	有() 無()			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(75,000円) / 無()	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	250円	昼食	300円
	夕食	350円	おやつ	300/2~3ヶ月円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(9月21日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	2名	要介護2	2名		
要介護3	4名	要介護4			
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 83歳	最低	65歳	最高	91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東川町立診療所 村井内科クリニック
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な田園風景に囲まれ、敷地内は広く有料老人ホームやディサービスなどの複合施設の中のグループホームである。ファミリー主催の「夏祭り」の実施で、地元住民に参加の声掛けを促したり、地元ボランティアの羽衣太鼓の参加など地域への働きかけが行われ交流に努めています。また、協議会などの外部の研修に参加したり、内部では「認知症基礎知識」の研修をするなど職員のスキルアップに取り組んでいる。共用空間は、落ち着いた雰囲気が漂い利用者と職員が和やかに一緒にゲームを楽しんだり趣味への支援が行われ家庭的雰囲気が感じられた。また、玄関前には椅子などが配置され、日光浴を楽しめたり利用者同士で談笑などできるスペースが用意されている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、共用空間の居場所の確保について取り上げられていましたが、椅子やソファが配置されると共に玄関前には椅子などが配置され、日光浴を楽しめたり利用者同士で談笑などできるスペースが用意されている。今後は、共用空間の有効利用もさらに検討されている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 外部評価の結果については、改善点や気付きの機会として取り組まれています。また、自己評価においては管理者・職員は、評価の意義を理解し、職員の研修の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在1回実施されています。議題については 高齢者の権利擁護について 身体拘束ゼロの取り組みについて 利用者の受け入れ状況 グループホームのある一日の流れ 質疑応答(意見交換)
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 利用料金を毎月家族に持参して戴き、その際に利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、職員の紹介など家族に報告して、意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、受診結果や時には介護記録を見て頂きそこでの意見を運営に反映するように活かされています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 「夏祭り」の実施や高校の学校祭への参加、地域活性化事業、「どんとこい祭り」への参加を通じて地域の人達との交流が図られています。また、近隣への散歩や買い物、食事ツアーなど日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念は、職員間で話し合われて作られている。また、職員は常にそれらを携帯して日常の業務の中で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は、2ヶ月に一度開催される幹部会議や毎月開催される職員会議で運営理念を共有して日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	「夏祭り」の実施や高校の学校祭への参加、地域活性化事業、「どんとこい祭り」への参加を通じて地域の人達との交流が図られています。また、近隣への散歩や買い物、食事ツアーなど日常生活を通じて地域との連携が行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果については、改善点や気づきの機会として取り組まれています。また、自己評価については管理者・職員は、評価の意義を理解し、職員の研修の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在1回開催されている。メンバーは利用者、家族、地域の住民代表、知見を有する有識者、管理者・職員で構成され具体的に取り組んでいる。</p>		<p>今後は、役場とも相談しながら行政職員も交えた運営推進会議を早急に開催できるように検討されている。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は役場との連携の重要性について理解して、連絡会の参加や相談など日々取り組んでいる。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用料金を毎月家族に持参して戴き、その際に利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、職員の紹介など家族に報告して、意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。</p>		<p>受診結果や時には介護記録を見て頂きそこでの意見を運営に反映するように活かされています。また、状態変化については都度電話連絡などで詳細に報告している。今後は、「通信」の発行など検討されてみては如何か。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営懇談会などで家族の意見を聞く機会を作ったり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んだりして気軽に意見や苦情・相談ができるように心掛けている。</p>		<p>今後は、さらに運営推進会議を充実されていかれることを期待します。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動や離職の際には、家族に報告している。また、職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホーム協議会などの外部研修参加を奨励して参加者の報告会でフォローアップされたり、職場内研修も充実させて職員を育てる取り組みがされている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>実践者研修やグループホーム協議会で同業者との交流が進められている。</p>		<p>研修会や相互訪問など今後積極的に活動されていく計画があるので、実践されていかれることを期待します。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して納得した上でサービスが受けられるように入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員も利用者と一緒に畑でトマトなどの野菜の収穫をしたり、買物や散歩、食事ツアーでお寿司を楽しんだり、ぬり絵や折り紙などの趣味への支援など本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1.一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>散歩や買い物、花見などのドライブ、カラオケ教室など外出の機会を多く作ったり、ぬり絵や折り紙、ゲームなど趣味への支援など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、介護支援専門員の適切な監理のもとに作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		<p>センター方式が導入されているので、さらに活用され充実されていくことを期待します。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。</p>		
<p>3.多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>有料老人ホームとの連携が行われ時々々の要望にも対応されています。また、本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護師が配置されている。また、利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医師と連携して利用者・家族とも段階的に繰り返し相談しながら慎重に検討対応するよう職員間で共有される取り組みがされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。また、利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重して声かけなど支援するよう取り組まれている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの今の気持ちを尊重して散歩や買い物や畑での野菜の収穫、レクリエーションなど本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって食事の準備をしている。食事中は、和やかな雰囲気を出している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は2回/週と基本的に決めているが利用者の希望に応じて対応している。また、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式で利用者一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴が把握され畑での野菜の収穫、カラオケ、ゲームへの参加、寿司などの外食や買い物、気分転換のためのドライブなど外出の機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩、花見見物、公園までのドライブなど気分転換や心身のリフレッシュができるように積極的に外出ができるように支援されている。		冬期間の外出の機会についても検討されている。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関や居室は、鍵をかけないケアに取り組んでいる。利用者が外出する時は、職員がさりげなく見守り安全面で配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者が配置され、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように実技を伴う火災避難訓練が年2回実施されています。また、救急救命の訓練についても定期的実施されていると共に定期的な研修の機会も検討されています。</p>		<p>今後は、近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施して日頃より地域の人達に協力が得られるように働きかけていくことを期待します。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な水分・食事摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され、栄養士の指導・アドバイスも受けて支援されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>広い居間や廊下には椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。また玄関先には、日光浴を楽しむことができ季節感や気分転換ができるように椅子などが配置されている。</p>		<p>時には、利用者から離れて職員がゆっくりできるスペースの確保を検討されることを期待します。</p>
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、テレビ、仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっていて一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。